\*Dialogues in this piece are quite unique and differ from school to school. The following

story therefore introduces two styles of dialogues, referring to the current *Utaibon* (book

of lyrics and musical notation) used in Kanze School, Hōshō School, Kita School and

\*Sections highlighted in represent variations in phrasing according to different

This part from *Utaibon* in Kanze School and Hosho School

1. Soga Brothers and Their Retainers Appear

Konparu School.

schools.

観

世

流

宝

生

流

現

行

謡

本

に

ょ

る

# が顕著なた

## \*流儀による違い -は観世・ 宝生流現行謡本による。

8

観世流

宝生流、

金春流の三流の謡本を元に、

三通り

の翻訳を掲載

喜多流現行謡本による翻訳は15ペ

-ジ以降、

金春流現行謡本による翻訳は28

~

## 我 兄

曽

我兄弟

は

父の

仇

である工藤祐

を討

5

機会をう

か

61

源

頼朝

0

す

富

0

従者

0

団三郎、

鬼王も

同行する

# 登場

## 弟と従者 の

## 曽我十郎祐成、五郎時致の兄弟とその従者(団三郎、鬼王) は 富士裾野にやっ 曾我十 13 安房国、 富士 Ш 0

十郎祐成

The Soga Brothers, who seek vengeance against Kudō Suketsune for killing their father, try to participate in the hunting competition at the foot of Mount Fuji hosted by the Shogun Minamoto no Yoritomo. They arrive at the venue with their retainers, Danzaburō and Oniō.

Soga Jūrō Sukenari, Gorō Tokimune and Their Retainers (Danzaburō and Oniō) The famous Mount Fuji, the famous Mount Fuji, let's go to the hunting competition at the foot of the mountain.

I am Soga Jūrō Sukenari. Our Shogun, His Excellency Minamoto Jūrō no Yoritomo, called out warriors from eight provinces in the Kanto region (the provinces of Sagami, Musashi, Awa, Kazusa, Shimousa, Kōzuke, Shimotsuke, and Hitachi) and hosts a hunting competition at the foot of Mount Fuji. Just like others, we brothers intend to participate in the competition and rush to the foot of the 名高 名高 61 富 王山 0 御 狩 ^ さあ 出 か け

国 をなされ ますの 郎祐成です 総国 0 野 玉 CK, 人並み 我ら 野 íに参加 将 常陸国 軍、 しようと思 朝 0 b \$ 関 0 東 0 を集 力 8 玉 富 0

けるのです 我々兄弟 で富 一の裾野

観世流・宝生流

mountain.

Once we depart home today, we do not know when we can come back. We may be unable to return anyways. So thinking, we are now even more reluctant to leave our home.

## Soga Brothers and the Retainers / Jūrō and the Retainers

We'll miss our home.

## Soga Brothers and the Retainers

When the snowy white deutzia flowers that bloom on the hedge of our house fall, it signals the end of the spring. Since these will probably be the last moments of our lives, we walk with heavy hearts. However, we manage to pass Mount Ashigara, and though it was far, we finally arrive at the foot of Mount Fuji. We arrive at the foot of Mount Fuji.

## 2. Soga Brothers Decide to Take Revenge and Try to Send the Retainers Home

The Soga Brothers let their retainers pitch a tent and set up their accommodation for the night, but set their minds on taking revenge that night. They consider the grief of their mother after they die and decide to send their retainers, Oniō and Danzaburō, home with their mementos.

Since we hurried, we've already arrived at the foot of Mount Fuji. Jūrō

Hello, Tokimune.

Gorō At your command. [Hōshō School includes this phrase]

御 前に おります。 [宝生流にあり]

五郎時致

Story

やあ、

急 77 できました 0 で、

0

野

に着きました

早くも富

ようと決める

古

8 る

そして自分たちの死後

0

母

の嘆きを考え、

従者の

鬼王、

団三郎に形見を届けさせ

1我兄弟

は、

幕屋を張ら

せて宿所

を作

つ

たが

そ

0

H

0)

夜

仇討ちを実行しようと決

意を

曽

我

兄

仇

討

ち

決

行

を

決

意

従

<u>|</u>|者二人

を

帰

郷

させ

ようと

す

えば 今日 出 なお 7 しまえば 層 我が家が名残 61 つ 郷 h 帰 n る 61 だろ ź もかなわないことだろうと思

我が家が名残り いり

/十郎と従者

5  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 我 命 が もこ 家  $\mathcal{O}$ n 垣 が 最 期だと 咲 雪の 思 えば よう な卯 足 取 0 n も重 が な 61 る て散 何と か足柄山を越えて進 も終わり ć

Ź

遠 か つ 0 に着 17 た、 富士 0 裾野 に着 17 た。

Va ala: Ca. a	(Von annual of the Court Durch and at Night) Kourt Charles and Charles
Youchi Sog	a (Vengeance of the Soga Brothers at Night) Kanze School, Hōshō School Stor
Jūrō	Order the retainers to find an appropriate place to pitch a tent.
Gorō	Yes, certainly.
Jūrō	Hey, Tokimune. Now, this is nothing new, but the dignity and the power of our Shogun is just amazing. Looking at the rows of well-made tents standing, I am simply surprised. Among these many tents, our tent is the least attractive.
Gorō	Yes, indeed. Needless to say, the dignity of our Shogun is incredible. / No other tent is shabbier than ours.  Now, what shall we do with that plan?
Jūrō	What do you mean by 'that plan'?
Gorō	Don't be silly. I never forget about the plan even for a moment. I'm talking about the Suketsune plan.
Jūrō	Surely, if you are talking about that, I too did not forget about it. We cannot survive without making any decision on the plan. Well, why don't you set up a good schedule?

十郎 こともなく、 まことに、 そのことならば、 生き長らえてもいられない。 私も忘れたことはない。 ともかく、 よいように定めてくれないか。 さて、 何をいつまでと決める

五郎 十郎 五郎 さて、 あの祐経のことです。 これはまた情けないことをおっしゃいます。 計画とは何だ。 が幕屋の内ほど寂しいものはない そうですね。 派な幕屋が並ぶのを見れば、 我ら兄弟の幕屋ほど寂しいものは、 例の計画はどうしますか。 今さらながら、我らが将軍様の御威光は、 まったく驚くばかりだ。 でしょう。 ないなあ。 私は片時も忘れたことはありません。 これほど多くの人がいるなか 大変なものですね。

観世流・宝生流

十郎

今さらながら、

我らが将軍様の御威光は、

大変なものだよ。

こうも立

五郎

畏まりました。

十郎

適当な場所を選び、

幕屋をしつらえさせなさい。

十郎

五郎

五郎

き長らえ

ても る通

5

ません。

今夜、

夜討をかけて、

あ

の者を討ち果たしまし

よう。

お

つ

P

り

つ

までと決め

る

べきです

61

つま

でと

0

8

それがよかろう。 [観世流にあり] では、 そうするように

決

以めよう。

はたと [宝生流にあり] 思い 出 したことがある。

5 が 故 郷 を出 る時に 上にこのことをはっきり を申 し上 げて 77 なか つ たの

自 か )団三郎 分たち が死 か 彼ら兄弟のうち一人に形見 6 だ後に は、 大変嘆かれるであろう。 の品を持たせ、 これだけ 故郷 へ帰そう。 が心残りである。 鬼王

れと言っ これ になるの は、 まことにごもっともなことです。 ても、 がよかろうと思います きっと何やかやと言い立て しか て聞かな L /そう仰せになりますが 11 と思 11 、ます。 二人ともお

もっともなことだ。 [観世流にあり] では、 二人ともこちらに呼 が出 しなさ 61

畏まりました。

団三郎、 鬼王よ、 こちらへ 、来なさ 41 に参りなさ

61

お

61

十郎

お

お、

それは嬉しいことだ

それでは承知してくれるのだな。

[観世流にあり]

## 3. The Retainers Refuse to Return Home and Intend to Commit Suicide

After confirming with them that they will follow his order, Jūrō orders the two retainers to return home. They refuse to follow the order even though it's from their master. They pretend that they will reluctantly follow the order because Gorō blamed them for clearly agreeing that they would follow Jūrō's order. However, they secretly discuss and arrange behind the Soga Brothers' back to stab each other and commit suicide.

The Danzaburō brothers / the brothers just arrived here. / before Gorō you.

Well, Danzaburō, and Oniō too, listen to me carefully. Tell me Jūrō clearly whether or not you agree with what I will tell you brothers now.

Danzaburō I think it's needless to say, but we will not disobey any of your orders.

Oh, I'm grateful to hear that. Jūrō

Jūrō You accept my request then. [Kanze School includes this phrase]

Ξ 五郎 方なく聞 け 郎 ませ は 従者二人 主命を聞る ん 団三郎兄弟/ と拒 くふりをする。 は む 帰 か 郷を拒み か 確 兄弟の者が、 し五 か その陰で、 8 郎 たうえで、 から、 死 の こちらにノ 主君の うとする 従者二人示し合わせて、 従者二人

4

うことを聞くと明言

したでは

な 17

か

と迫られ

刺

し違えて死のうとする。

に帰郷を命じる。

従者たちは

御前に参りましたよ

とはあ 0 さて団三郎、 か n は りません。 しな 61 まさらながらとい 17 0) 鬼王もよく聞きなさ か は つ きりと言 ・うお 17 つ なさ 私が や りようですが お前たち兄弟に今話すことを承知

仰せに背くこ

す

観世流・宝生流

団三郎

畏まりました。

何だって、

帰らないと言うの

か。

[観世流にあり]

して帰りません。

[観世流にあり]

鬼王

鬼王よ、 その通りです、

n

は

この

まま引き下

が

つ

帰ることは

できませ

か

て

討 長 61

5 13

死に

11

たすため

でござい

ます した

ゆ

このことば

ح

0 思

年月

を、

御

奉

公

61

た

しま

0

B

0 9

0 大事 ま

なところで、 事と次第によ

真っ

は

よらぬことを仰

せで

申

そうではな 61

もっともなことです。 [観世流にあり] 帰ることなどできません

団三郎

一人で故郷

へ帰りなさい

世流にあり] 畏まりました。 どのようなことであろうとも、

の上は詳しく それならば、 つ て聞 か さよう。 さて、 我ら が 0 仇

あ 0 祐経を今夜、 お嘆きになるだろう。 夜討にかけ 余りにもお気の毒なことなので、 て討ち取 いるのだ。 我ら兄弟が死んでしまえば、 形見の品々を持って のことだが 故郷の

観世流・宝生流

せに背くことはございません。

十郎 十郎 五郎 ない して固 (五郎に対して) 畏まりました。 お前は妙な者だな。 (団三郎に対して) まずは、 か 61 61 しこまりました。 か。 に帰るのだな。 出す はまた/お前 何故帰らないというのだ。 お前たちは い約束をしたわけだが……。 くどうあっても帰りません。 のではな たちは、 61 [宝生流にあ かと懸念されて、 [観世流にあり] なあ、 畏まりましたと申し上げてください 妙なことを Ď [観世流にあり] 本当に帰 ーどう どうあ 十郎殿は、 て帰らな 五郎殿、 う つ \$ ても帰らな 0 だな。 はじ 61 あ の者たちを帰るようにしてく 5 8 61 な 17 か からこそ、 0 17 ら念を押 0 のか そのようなことを 先に言葉を尽く して仰っ たのだ

観世流・宝生流

回回郎

帰ります。

回回郎 鬼王 もどう まことに、 ば主命に背くこととなる。 さてどう え 何ごとですか。 て死 つ n にまし に や せよ たらよ る通 したものだろう どちらに ŋ 命を捨てることが肝要です [観世流にあり] 判 て  $\sim$ 帰 断 か。 も命を捨てることが肝要だな。 が 進退きわまったぞ る この つ  $\mathcal{O}$ きません。 は不本意です まま故郷  $\sim$ 帰 恐れ る か ながら団三郎殿よ、 帰らなけ 0 Ĺ は不本意である 考え では n つ ば主命に背きます。 いたことがあります 刺 し違えて死 ここで差し違

帰らなけ

n

お

61

鬼王よ。

話したいことがある。

は

41

[観世流にあり]

帰るとい

ったのだな「観世流にあり」

兄弟の者たちは

[宝生流にあり]、

帰りますと言

つ て

7)

でよ

61

[観世流にあり]

観世流・宝生流

0 څ ، 出すの

いだった。

## 4. Soga Brothers Persuade the Retainers Once Again and Have Them Go Home

Being surprised with the retainers' decision, the Soga Brothers stop them. Jūrō tells them once again that they are taking an important role to be messengers to their mother in the home village. He further explains the way of the master-and-servant relationship and tells that he will disown them even in their next lives, if they still refuse to follow his order. Being pressed on that much, the retainers cannot refuse to obey his order anymore. They decide to return to the village. Jūrō prepares a letter and Gorō prepares a talisman for their mother. With their hearts, the Soga Brothers pass those mementos to the retainers and see them off in tears.

Hold on. Wait a minute. What are you guys trying to do? Gorō

Hey, brothers, we won't force you to return. We won't force you to Jūrō return.

> Calm down and listen to me now. Tonight, if we take our revenge on Suketsune and lose our lives here, who will inform this news to our mother at home? It is said that following orders of those whom you respect is the way of master and servant. If you do not follow my order, I will disown you two even in the next lives.

## **Group Reciters**

Persuaded impassionedly like this, Oniō and Danzaburō have no choice and reluctantly say that they will take the mementos. But while saying so, tears unexpectedly flow out. They cannot hold back their tears.

地

が守、 n

思

い思い

の形見を用意し、

従者二名に渡し、

涙ながらに別れる。

ると、

従者二名

\$

聞か

ざるを得ず

帰郷

することになる。

曽我兄:

弟

手

Ŧi.

と語

君臣

0

道

を改

め

て説

た上で、

聞

か 8

なけ

れ

ば

後 0

世

まで勘当す

ると 大切

41 . う。

そこまで言

兄弟 り、

は驚き、

を止

8

る 61

は

改

て、

故郷

0

使者が

な役

を

つ

7

13

四

曽

我

兄

弟、

従

...者二人

を

改

め

て

説

得

帰

郷 さ

せ

鬼王

そうしましょう

61 お 61 っと待て。 何をしようとするのだ。

兄弟の 者たち、 帰さない ぞ、 帰さな 61

落とせば、 ある」とい Ú 心を鎮 故郷 わ 8 7 7 0 母上に、 聞きなさ 6 が お 知らせする の場所で祐経 0 だ。 「敬う を討 者に つ 従 う 自分達兄弟が 0 が君臣の 礼 命 ~ な

ります よう と言 n った 切 々 7 と説得さ る。 そ  $\sigma$ これを聞かなければ、 n 击  $\mathcal{O}$ 7 は より 鬼王、 知らず知 団三郎 後の世までも、 らず も致 に涙 し方 が ずっと勘当だぞ。 こらえきれ n では形見 ずにこぼ を賜

ま

つ

はそ

Ō

主をお守り

ż

つ

た守

ñ

の観音様

私

がこの

世と縁

が

切

n

ても

そも

が

莧

9

先例

は

と言

0

玉

0

噌が

か

つ

衣る

鎧

6つ の

背に着て

後ろ

か

5

の矢を防ぐ衣)

を着替

え

7

見とし

た

こと

後世

例とな

た

\$

0

であ

An ancient example of giving a memento is of General Fan Kuai in China who took off the garment he received from his mother (horo cloak which is worn on the back of armor as protection from arrows. Horo is spelled with the characters for "mother" and "garment" in Japanese) and made it as his memento. This became an example for later generations.

The horo cloak that warriors wear today was named after this

Jūrō The *horo* cloak that warriors wear today was named after this "mother's garment."

Reciters Well, it is not appropriate to compare menial people like us to General Fan Kuai, but filial love is universal.

Then, the Soga Brothers finished writing a detailed letter for their mother. "This is the letter Sukenari wrote at his last moment. Therefore, please look at it as my memento even after the characters have faded out and are getting unreadable. Nothing else would be more suitable than my handwritten letter for a memento. Please keep my handwritten letter in your mind and console my spirit after my death. A proverb says it is not necessarily determined that a younger person survives longer than an old person. It is a way of this world that an older person is left behind. Flowers and leaves fall someday. Please understand that impermanence is the way of this world." When Sukenari writes this and gives the letter to the retainers, Tokimune takes out the talisman he always holds in his bosom and says, "Tell her to consider this a memento of Tokimune. Some people say that mementos only become a source of grief because it reminds them of the deceased. But holding a memento will comfort us somehow. Please keep this talisman with you and consider that Tokimune is always with you. My guardian deity, Kannon Bodhisattva, has protected the owner of this talisman until today. Even after my tie with this world ends, please help me to be reborn in Heaven in my next life." So saying, he passes the talisman to the retainers.

ある 世 武 士 が 身に着け る母衣 لح 61 う 0 0 母 0 か つ た名

そ n 7 5 0 う な 腾 13 者 樊噲 に 例 え る 0 は 不 似 合 である 子

恩愛の た者 ŧ ことわ 情 0 7 が た守を取 理と思召 は で書 る ぞこ 誰 我兄弟は でも変わらな の手紙 、た手紙 を思 見と しください h 守を御 この 13 不定』 の筆跡 であ 世 てご覧くださ 身に させる歎き  $\overline{\mathcal{O}}$ 習 ります 0 と祐 とあ つけ をお心 手 0 しでござい は時 ゆえ、 だ 成 が書き渡 にお 致 種 致が か たとえ文字が消えて 0 であると言 形見と思 います。 0 61 か 形見に せば くださり で 書 花が散り き終えた。 61 その時、 長生きす は手跡ほ るも ます 私の 0 るとは どよ 薄く 時致も、 亡き跡をお弔 葉の せめ ださ し召 n 11 な 散 ても 限らず h る無常こそ 肌身離さず 0 の慰めと はあ 見 成 形 ださ が ゔ 見は

地

も声

に諸行無常を知ら

せるように鳴り響

13

7 61

で

さらば

13

で行

# や、

夕暮の時を告げ

どうか来世往生

の出来るようにお助け下さい

と述べて渡した。

つ

たの

は、

あわれなことだよ

弟が見送り、

涙ながらに留まったの

は、

あわれなことだよ、

涙ながらに留ま

ら思

61

知られることだ。

こうして、

富士

一の裾野

つから、

二人

の従者が

曽

へ帰る

のを

の歌を詠じた人

0

心まで、

まさらなが

の文の、

涙の乾く間もないうちに届けておくれ)」

「涙を文に巻きこめて、

そのままやる、

文の

 $\mathcal{O}$ 

2 間に

(涙を封じてそのまま送るこ

[中入]

五

間

狂

言

മ

登

## Jūrō / Gorō and Jūrō

Now, letting us know the arrival of the evening is

Reciters

the toll of bells resonating around, just as they remind us that all things are impermanent. Now, so long. Hurry to home. "Deliver this letter to the person before my tears enclosed in the letter dry." I indeed understand the feeling of the author of this poem now. As such, the Soga Brothers see off their two retainers return to the village of Soga from the foot of Mount Fuji. They shed tears and stay behind. How pitiful they are. They shed tears and stay behind. How pitiful they are.

[Interlude]

## 5. Kyōgen-kata Appears

Regular version by Izumi School: one or two messengers appear(s) and narrate(s) the story of the act of vengeance accomplished by the Soga Brothers.

Ōkura School and the special "Ōtōnai" version by Izumi School: Ōtōnai (a guest of Kudō Suketsune and the Shinto priest of Kibitsu Shrine) appears, holding a female sash and a Japanese bamboo flute, in a manner that he managed to escape from the scene of vengeance. When a retainer serving at the hunting field talks to him, Ōtōnai shows relief and tells him that he was present at the scene of the Soga Brothers' revenge and he escaped only with his sword and belt. As pointed out by the retainer, he then notices that he actually grabbed a bamboo flute instead of a sword. While helping Ōtōnai to gird the sash, the retainer makes fun of him, telling a lie that Ōtōnai's back is slashed. Ōtōnai starts crying. The retainer reveals that he lied, but then shouts that the Soga Brothers are coming here, and he runs away. Ōtōnai, who turns pale, tries to hold the retainer but is shaken off and leaves the stage while calling for help.

大蔵流 和泉流 次第を語る の通常の 和泉流の 場合: 小 書 「大藤内」 の場合: 女帯と尺八を持った大藤内 (工藤祐経の客人、

伝令役と見える一人、

または二人の男が登場し、

曽我兄弟の仇討

ち

神社の神主) が 討ち現場から逃げてきた様子で登場する。 狩場の者が声をか けると大藤内 津

## 6. Gorō Fights against Yoritomo's Warriors but is Finally Taken Alive

The Soga Brothers kill Kudō Suketsune and wreak their vengeance. After that, they end up fighting against the warriors serving the Shogun Minamoto no Yoritomo. The second half of this piece begins from the battle scene between Gorō Tokimune and the warriors. Jūrō has already been killed, but Gorō Tokimune holds and fights back well. Although he slashes and kills Furuya Gorō, he is taken alive by Gosho Gorōmaru, who disguised himself as a woman.

Furuya Gorō, Gosho Gorōmaru, and Two Extra Players

Just as the white waves hit the shore loudly, we let out war whoops and make loud noise.

Oh my, a sea of warriors is coming. So many warriors are clamoring Gorō to kill us two brothers.

> Brother Jūrō! Brother Jūrō! Why do you not respond to me, Jūrō? You fought against Nitta Shirō earlier in the evening, but you must have been killed already. It is truly regretful. Although I wanted to die together with him at the same place, we were dispersed just as flowers in full bloom are scattered around, and we end up showing our corpses here and there. I am bitterly disappointed.

Story

## 五郎 お

何

17

0

軍

兵

か

我ら兄弟を討とうとし

多勢が

2騒ぎ合

必死

なる。 押さえら 1/2 後場 たが ĺ n Ŧī. 部時致 Ŧī. 郎 縛され 時 致と は なおも 頼 朝 0) 家 する 来 たち 古屋  $\mathcal{O}$ Ŧi. 郎 61 を  $\mathcal{O}$ 場 斬 面 h か せる 5 始まる が 女装 した御 郎 は 既 討 五. 郎丸 5 取

5

n

7

兄弟

は仇

討

0

本懐

を遂げ

藤

祐

経

を討

5

取

る

そ

 $\mathcal{O}$ 

0

たち

ځ

 $\mathcal{O}$ 

取

n

古屋五郎 御所五郎丸、 立衆二名

岸に打ち寄せる白 61 波 が高 い音を立てるように、 我 いらは関 の声 を上 げ、 騒ぎたてるぞ。

なっ 7 61 るぞ。

十郎

殿

十郎殿。 どう てお返事が な 61 0 です か 郎 殿 宵 新 田 四 郎 戦 つ

観世流・宝生流

7

青ざめ

て狩場の者に縋り付こうとするが振り切られ

助けてく くるぞ、

れ

と叫

びながら幕に入る。

とい

って駆け

出す。

大藤

を締

8

てや

ŋ

なが

5

切

5 か 兄

ても

な

61

背中

が

切ら

n

7

61

るぞ、

とか

らか 狩場の

大藤内は泣き

場

 $\mathcal{O}$ 

者

 $\mathcal{O}$ 

で

0

ŋ

尺

を持

つ

てきたことが

知ら

n

る。

者は大藤内

での帯

刀と帯を持

て逃げたと述

ず。

狩場の

者

は嘘だと明

か n わ

す

我兄弟が

は

心

た様

曽

 $\mathcal{O}$ 

討

5

0

六

五

郎

頼

朝

の

家

来と奮戦する

が

生

け

捕

5

n

地

あちこちに

死骸

をさら

すことにな

つ

7

しま

つ

無念なことよ

n

た

が

さ

7

いた

ま

た

つ

同

じ場所

でと、

つ

7

がて

花盛

n

 $\mathcal{O}$ 

花の

がか

散

るごとく

散り

散

にぬ

9

Reciters Yoritomo's warriors look at this, Yoritomo's warriors look at this.

They are about to unsheathe their swords. They now rush to attack Tokimune.

Gorō Wow, you people are overreacting.

Wow, you people are overreacting. You've already witnessed my skills. So saying, Tokimune re-grips his sword and stands up. Anyone witnessing his dignity cannot stop praising him. In the meantime, in the meantime, one of Yoritomo's warriors, Furuya Gorō, fiercely and skillfully attacks Tokimune with his sword, as powerful as the irate and mighty General Fan Kuai and as tactful as the bright strategist Zhang Liang. Tokimune accepts the challenge and fights back fiercely, so hard that they nicked the back of each other's swords. After fighting for a while, we do not know how Tokimune actually slashes him but it looks like Furuya Gorō is cut in two.

In the meantime, in the meantime, Gosho Gorōmaru, who is determined not to let Tokimune in the Shogun's room, takes his armor's sleeves off, removes and tosses the tassets on the floor, covers himself with a thin, female garment from head, and waits for Tokimune by the door.

味方 0 け と太 お前 軍勢はこれ お前たちは て斬 刀を取り たちは ŋ か か h を見 ₽ B つ 0 0 B b て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ (時致が) 77 方 7) ことよ。 ことよ 0 軍勢はこれ 立 つ た姿は、 先にこちらの を見て、 8 な 手並 刀 61 の鍔元をゆるめ 者 2 は ほどは な 11 時

こう 怒 け 0 0 時致 れる勢 7 5 7 13 た鎧 \$ 61 るところに そ 古屋五 0 ŋ 袖 のう うけ 0 音を解き、 知 Ś 郎 略 で、 0 Oこう か 抜 す 草摺 致を待ちかまえた 61 古屋 所 た太刀と、 n た張良 を軽 Ŧī. て 五 郎 いるところに、 郎は 々 丸 ٤ は、 0 いように 真 ハカニカ を削 ヹ 軍 つ  $\mathcal{O}$ る 秘術を尽く になっ ほど激 頼朝方の古屋五 前 て見えた。 捨 入 n 7 て、 な 上から女物の 13 一郎が る \$ ほどであ  $\mathcal{O}$ 勇猛な樊噲 斬 か h 薄 五郎 かかっつ った。 肌 衣

観世流・宝生流

Reciters

致

A series of distinguished musical movements describe the development of the story. In this scene, it shows Gorō Tokimune spying on his enemy.

Gorō Now, Tokimune runs of out luck.

Reciters Now, Tokimune runs of out luck. He is coming closer to the end of his fighting power. This must be a real woman. Dropping his guard, Tokimune passes by, and then Gosho Gorōmaru, who just lets Tokimune go, stands up at his side and forces Tokimune down to the floor.

Gorō Who are you? (Gorō Tokimune asks.)

Reciters My name is Gosho Gorōmaru (Gorōmaru responds.) How extravagant. Tokimune grabs the torso of Gorōmaru's armor and flips him down. Now Tokimune, who is on top of Gorōmaru, pins him down to the floor, but then Gorōmaru pushes Tokimune back from the bottom. At that moment, a number of warriors pile on top of Tokimune and firmly bind him with a rope. Tokimune is taken before Shogun Yoritomo. How splendid it is.

地

地

今は時致も運が尽きて

五郎

囃子に乗り

特徴ある所作で、

物語

 $\mathcal{O}$ 

展開を示す。

ここでは

五.

郎時

致が敵を探る様子を表す。

IJ

口

工

今は は少し行 時致 かせて も運が から並 尽きて、 び立って、 むんずと時致を組 本当  $\bar{\sigma}$ 女 かか み敷 ٤ け して通ると、

所五

お前は何者だ(五郎時致は問いかけた)。

ころで、 ことであった 所五郎丸だ(五郎丸が答えた)。 (鎧 の 幾筋 胴の部分) Ŧī. 郎 \$ 0 丸がまた下 縄をかけ を つかみ、 か かたじけなくも将軍の らえ 77 11 何と物 やと押 えい し返した。 いことよ、 御前に、 つ 時致 引っ立てたのは 大勢で折り重なって は五 致 郎 が 丸 にな 0 0 8 つ わ

## This part from *Utaibon* in Kita School

\*Dialogues in this piece are quite unique and differ from school to school. The following story therefore introduces two styles of dialogues, referring to the current Utaibon (book of lyrics and musical notation) used in Kanze School, Hōshō School, Kita School and Konparu School.

## 1. Soga Brothers and Their Retainers Appear

The Soga Brothers, who seek vengeance against Kudō Suketsune for killing their father, try to participate in the hunting competition at the foot of Mount Fuji hosted by the Shogun Minamoto no Yoritomo. They arrive at the venue with their retainers, Danzaburō and Oniō.

Soga Jūrō Sukenari, Gorō Tokimune and Their Retainers (Danzaburō and Oniō) The famous Mount Fuji, the famous Mount Fuji, let's go to the hunting competition at the foot of the mountain.

Jūrō I am Soga Jūrō Sukenari, and this is my brother. Our Shogun, His Excellency Minamoto no Yoritomo, called out warriors from eight provinces in the Kanto region (the provinces of Sagami, Musashi, Awa, Kazusa, Shimousa, Kōzuke, Shimotsuke, and Hitachi) and hosts a hunting competition at the foot of Mount Fuji. Just like others, we brothers intend to participate in the competition and rush to the foot of the mountain.

## Soga Brothers and the Retainers

Once we depart home today, we do not know when we can come back. We may be unable to return anyways. So thinking, we are now even more reluctant to leave our home.

な

お

層

我が

家

が

名

n

13

## 曽我兄弟と従 者 の 登

\*以下は喜多流現行謡本による。

観世

宝生流現行謡本に

よる翻訳は

 $\sim$ 

ージ

から、

金春流現行謡本

による翻訳は28

以降に掲載

\*流儀による違

いが顕著なため、

観世流・宝生流、

喜多流、

金春流の三流の謡本を元

に

三通り

0

翻訳を掲載

Ű

ます。

曽

喜

多

流

現

行

謡

本

に

ょ

る

我兄 弟 は 富 0 裾 仇 野にやっ であ る工 てくる。 藤祐 経を討 従者の 5 機会をう 団三郎 か 鬼王も 61 同行す 源 頼 朝 0 す 0

曽我十郎祐成、 五郎時致の兄弟とその従者 (団三郎、 鬼王)

名高 61 富 王山 0 名高 61 ·富士山 0 御狩 出 か け

十郎祐成 模国、 0 は 巻狩 曽我十 武蔵国 をなされ 郎祐成と兄弟で 安房国 ます 総国 々兄弟も ·総国、 人並 国 J, みに参加 我 らが 野国 常陸国) しようと思 0 ₽ ろ 61 0 東 侍 で富 0 !を集 力 一の裾野 め 国

かけるのです。

従者 岩 兄 弟 と 白出 てしまえば つ 故 郷  $\sim$ 帰 n る だろ ź か そ なわ ない ことだろうと思



We'll miss our home. When the snowy white deutzia flowers that bloom on the hedge of our house fall, it signals the end of the spring. Since these will probably be the last moments of our lives, we walk with heavy hearts. However, we manage to pass Mount Ashigara, and though it was far, we finally arrive at the foot of Mount Fuji. We arrive at the foot of Mount Fuji.

## 2. Soga Brothers Decide to Take Revenge and Try to Send the Retainers Home

The Soga Brothers let their retainers pitch a tent and set up their accommodation for the night, but set their minds on taking revenge that night. They consider the grief of their mother after they die and decide to send their retainers, Oniō and Danzaburō, home with their mementos.

Jūrō Since we hurried, we've already arrived at the foot of Mount Fuji.

> Hello, Gorō. Order the retainers to find an appropriate place to pitch a tent.

Gorō Yes, certainly.

Well, Gorō, the dignity and the power of our Shogun is just won-Jūrō derful. Among these many tents, our tent is the least attractive.

Story

人が

61

、るなか

で、

我ら

兄弟

0

幕屋

ほど寂

B

0

は

41

なあ

Ŧi. 郎殿。 適当な場所を選び

十郎

急

17

できましたの

早

も富士

 $\mathcal{O}$ 

裾

野

に着きまし

幕屋をし

つらえさせなさ

ようと決

める そし |我兄弟

幕屋

を張

5

せて宿 の死後

を作

つ

たが

そ

0

 $\mathbb{H}$ 

夜

仇

討

らを実行

しよう

と決

曽

我

兄

弟

仇

討

ち決行を

決意

b

従者二人を

帰郷させようとする

8 Ź

て自分たち

0 所

母

0

嘆きを考え、

従者の

鬼王

団三郎に形見を届けさせ

五郎時致

心得ました。 五. 郎殿、 が 将軍 様  $\mathcal{O}$ 御 威 光 素晴 5 61 0 であるな。 これ ほど多く

なる た。 が n ば とか 春も終 足柄 わ を越えて進み、 h であ る。 我ら 遠か 0 命 つ B た富 n が 最  $\mathcal{O}$ 裾野 期 だと思え に着 61 た、 ば 富士 足取  $\mathcal{O}$ h が裾野に も重く

が

n

13

ことだよ。

その

が

0

垣

0

が

Youchi So	ga (Vengeance of the Soga Brothers at Night) Kita School Story	十郎	五郎	十 郎	五郎	十郎	五 郎	十郎
Gorō	As you said, no other tent is shabbier than ours.							
	Now, what shall we do with that plan?	おお、	おっし	りなのだ。かったのだ。	それこそ、	夜に定めよう。	あった。	計画とは何だ。
Jūrō	What do you mean by 'that plan'?	はた	やる	だ。だ。だ。だが、	そ、	んめよ	祐経の	こ は 何
Gorō	Don't be silly. I never forget about the plan even for a moment. I'm talking about the Suketsune plan.	はたと思いく	しゃる通り、私	、我	よいこと	れ は	祐経のことです。	だ。
Jūrō	Truly, you are right. We shall not survive without taking our revenge. We shall have our revenge tonight.	ついたこ	私も判断	自分たちが死んだ後にらが故郷を出る時に、	ことでございます	もっともなことだ。	り。いことをお	
Gorō	That sounds very good.	とがった。	がつき	死 出 ん る だ 時	いませ	なこ	つ	
Jūrō	Now, Gorō, when we left our home, we did not clearly mention to our mother about our plan of revenge. She will be in extreme grief after we die. This is the only regret I have.	たことがあるぞ。団	つきません。	は、母、上	9.	۲ ي	しゃいます。	
Gorō	Same to you, I cannot think of a good way either. What shall we do?	団三郎の兄	さて、どう	大変嘆か		つまでも、	。 私 は 片	
Jūrō	Oh, now I have an idea. We shall send one of the Danzaburō brothers home with our mementos.	兄弟のうち一人に形見の品を持た	うしたものでしょうか。	大変嘆かれるであろう。これだけが心残にこのことをはっきりと申し上げていな		生き長らえてもいられない。今	7時も忘れたことはありません。	

五郎

おっしゃる通り、

我らが幕屋の内ほど寂しいものはないでしょう。

例の計画はどうしますか。

## Youchi Soga (Vengeance of the Soga Brothers at Night) Kita School

What you said really makes sense. But I don't think they will agree Gorō with returning home. I believe they will not say yes to the order of one of them returning, so how about returning them both home?

That is so true. Now, call them out here. Jūrō

Certainly. Gorō

Hey, Danzaburō, Oniō, come in front of my brother.

Danzaburō Yes, certainly.

## 3. The Retainers Refuse to Return Home and Intend to Commit Suicide

After confirming with them that they will follow his order, Jūrō orders the two retainers to return home. They refuse to follow the order even though it's from their master. They pretend that they will reluctantly follow the order because Gorō blamed them for clearly agreeing that they would follow Jūrō's order. However, they secretly discuss and arrange behind the Soga Brothers' back to stab each other and commit suicide.

## Story

五郎

十郎

それ

はまったく、

もっともなことだ。

では

こちら

しなさ

1/2

と思 61 ・ます

は、 せは

一人では

帰ると言わな

61

で あ

しょう の者

から、

二人ともお帰

しに

になられ

てはどうか

b

っともなことです

が

たち

は帰るとは言

わ

な

61 で

ょ

が思う

へ帰そう。

お 13 団三郎、 鬼王よ、

御前

なさ

畏まりました。

## 従者二人 は 帰 郷を拒み 死 の うとする

Ξ

け 郎 いません 主命 と拒 を聞 t か か 五五. か 8 郎 たうえで、 から、 主君 従者二人に帰郷を命じる。 0 11 うことを聞くと明言したではな 従者たちは、 61 かと迫られ ご命令でも

方なく聞 ふりをする。 その 陰で、 従者二人示し合わせて、 し違えて死のうとする。

Story

鬼王よ、

そうではな

61

か

Gorō The Danzaburō brothers just arrived here.

Jūrō Well, Danzaburō and Oniō, I truly appreciate your continued service. I have something to tell you brothers now. Will you follow me whatever I order you to do?

Danzaburō I think it's needless to say, but we will not disobey any of your orders.

Oh, I'm grateful to hear that. Jūrō

> Then, you brothers return home with our mementos and tell my mother this. We brothers will exact revenge on Suketsune here at the foot of Mount Fuji tonight. We will probably lose our lives as well. Although we regret to leave this world before our mother, please commemorate our deaths and console our souls. Please deliver this message to our mother.

Danzaburō This is such an unexpected order. Whether we obey or not depends on the contents of your order. We have served you for these many years in order to be of service to you at the most important moment. With regards to this matter, regardless of what you say, we refuse to back down and return home.

Oniō, don't you agree?

十郎

とは

あ

h

**ません** 

団三郎

n

は

61

まさらながらとい

いうおっ

しゃりようですが

何ごとでも、

仰せに背く

話があるの さて団三郎、鬼王よ。 だ。 何ごとであっ これまでは、よく御奉公してく ても、 私が申し付けることを聞く

n

た。

ところでお前

たち兄弟に

か

五郎

団三郎兄弟が

こちらに参りましたよ

お お、 それは嬉しいことだ。

よく話 事で 0 ならば、 が裾野で、 してほ よう、 逆縁ながら、 77 祐経を夜討 前 のだ たち兄弟 御弔 は か け 61 をお て討 願 5 帰 果 17 ŋ た 61 します 上 ೬ 話 つ と我ら て 0 ほ 兄弟も ことを母上に 13 命を落とす よく

に立 す 一つため ح は思 て 0 長 帰ることはできません 61 でござ b 7 年月 5 を、 ぬことを仰 、ます。 御 奉 何とお こせです。 11 た つ お Þ た 申 まし 0 Ŕ 付け ے に従 0 うこと 番 0 大事 事と次第に なところで、 ŋ このまま ょ お役 Ŋ ま

Oniō You are totally right.

Danzaburō and Oniō

We will definitely not go home.

Jūrō Alas, what you brothers said is nonsense. That's the reason why I

emphasized at the start that you would stand by your promise to

me... why do you insist this?

Well, Gorō, could you talk with them and persuade them to

return to the village?

I am at your command. Gorō

> Hey, why you two are insisting on not going back? Sir Jūrō emphasized earlier to make you promise with him because he was concerned that you might insist like this. Are you really not

returning?

Danzaburō (To Gorō) We follow your order.

Good, that's what you need to do. Gorō

Saying they are going back.

帰りますと言っ

て

います。

五郎

おう、

それでよい

のだぞ。

(五郎に対して) 畏まりました。

では帰ります

五郎

しこまりました。

お

13

お前たちはどう

して帰らな

13

ح

61

0

その

よう

なことを言い

出す

61

と懸念され

て、

十郎殿は

は

8

か う

ら念を押し

て仰っ

たのだぞ。

本当に帰ら Ó で は

0

か

鬼団 王三

十郎

郎

鬼王

仰

せはもっともなことです。

して帰りません

ああ、 筋道

約束をしたわけだが……。

なあ五

一郎殿、

話をしてあ

の者たちを帰るようにしてくれ

な

61

か

そのように言うの

だか

らこそ、

先に言葉を尽くし

0 通らな 61 ことをいう者たちだ。

Oh, I am grateful. Now, hurry up and return to the village. Jūrō

Danzaburō Yes, we certainly will.

Oniō, come this way.

Now, what shall we do? It is totally against our will to return to the village now, but if we don't return, we will be acting against the order of our master. We have come to the end of our rope.

As you said, I don't know what to do either... However, I have an Oniō idea. Either way, giving up our lives is critical. Danzaburō, with the greatest respect, we will stab each other and die here.

Danzaburō I agree with you.

Danzaburō and Oniō

Now, we shall stab each other here.

## 4. Soga Brothers Persuade the Retainers Once Again and Have Them Go Home

Being surprised with the retainers' decision, the Soga Brothers stop them. Jūrō tells them once again that they are taking an important role to be messengers to their mother in the home village. He further explains the way of the master-and-servant relationship and tells that he will disown them even in their next lives, if they still refuse to follow his order. Being pressed on that much, the retainers cannot refuse to obey his order anymore. They decide to return to the village. Jūrō prepares a letter and Gorō prepares a talisman for their mother. With their hearts, the Soga Brothers pass those mementos to the retainers and see them off in tears.

Story

二人を止める。

十郎は改

め

て、

故郷

0 母

 $\sim$ 

0

使者が大切な役を担

つ

7

41

る

曽我兄弟は驚き、 匹

曽

我 兄

弟、

従

人者二人

を

改

め

て

説

得

帰

郷させ

鬼団 王三 郎

は、

ここで刺し違えよう。

n は

っ ともなことだな

郎殿とここで差 し違えて死にまし よう

や る通 が あ ります。 り、 もどう 13 ず にせよ、 たらよ 命を捨て が ことが つ きませ 肝要です。 恐 n なが

可三

ば主命に背くこととなる。

進退きわまったぞ。

したも

0)

いだろう

か

 $\mathcal{O}$ 

まま故

郷

 $\sim$ 帰

る

は不本意であるし、

帰らない

け

n

つ

鬼王よ、 畏まりました。 へ来なさ

お

嬉しいことだ、

さあ、 急い で帰りなさい

What are you guys trying to do? Gorō

Hey, brothers, we won't force you to return. We won't force you to Jūrō return.

Come this way.

Calm down and listen to me now. Tonight, if we take our revenge on Suketsune and lose our lives here, who will inform this news to our mother at home? Also, there is no meaning if you brothers lose your lives here. Just bring our mementos home and let our mother know about us. If you do so, we will be surely thankful to you in our grave. It is said that following orders of those whom you respect is the way of master and servant.

## Jūrō and Gorō

If you do not follow my order, I will disown you two even in the next lives.

## **Group Reciters**

Persuaded impassionedly like this, Oniō and Danzaburō have no choice and reluctantly say that they will take the mementos. But while saying so, tears unexpectedly flow out. They cannot hold back their tears.

Story

ります」

と言

った

そ

0 3

0

より

知らず

知らずに も致

涙 方

こらえきれ

出すの

りだった。

地

よう

切

々

と説

n 声

7

は

鬼王、

団三郎

そ

れ

で

は

形

見 を賜

十郎、五郎

n

を聞かなければ、

後 の世までも、 ず っと勘当だぞ。

を伝えるならば、 落とせば、 まずは心を鎮めて聞きなさ わ ても、 n てい 故郷 何 0 甲 0 -斐もな 母上 草葉 に、 の陰で嬉しく思うぞ。 61 ・ことだ。 誰 61 が お知らせするの 唯々、 0 場所 形見を持 「敬う者に従う だ。 で祐経を討 それ つ て故 に、 つ に帰 お前 0 が君臣 り、 たち兄弟が 分達兄弟が 母にこの の礼である 2命を落 命を

こちらへ来なさい

が れ

守と、 ると、

思い

思

61

0

形見を用意

従者二名に渡

涙ながらに別れ

る

n

は何をしようとするのだ

兄弟の者たち、

帰さない

ぞ、

帰さな

11

従者二名

\$

か

ざるを得ず

すること

こになる。

我兄弟は

十郎

が手紙

Ŧī.

そこまで言

り、

君臣

 $\mathcal{O}$ 

道

を改

8

て説

13

た上

聞

か

なけ

ば

後世まで勘当するとい

an example for later generations.

Jūrō The *horo* cloak that warriors wear today was named after this "mother's garment."

(horo cloak which is worn on the back of armor as protection

Reciters Well, it is not appropriate to compare menial people like us to General Fan Kuai, but filial love is universal.

> Then, the Soga Brothers finished writing a detailed letter for their mother. "This is the letter Sukenari wrote at his last moment. Therefore, please look at it as my memento even after the characters have faded out and are getting unreadable. Nothing else would be more suitable than my handwritten letter for a memento. Please keep my handwritten letter in your mind and console my spirit after my death. A proverb says it is not necessarily determined that a younger person survives longer than an old person. It is a way of this world that an older person is left behind. Flowers and leaves fall someday. Please understand that impermanence is the way of this world." When Sukenari writes this and gives the letter to the retainers, Tokimune takes out the talisman he always holds in his bosom and says, "Tell her to consider this a memento of Tokimune. Some people say that mementos only become a source of grief because it reminds them of the deceased. But holding a memento will comfort us somehow. Please keep this talisman with you and consider that Tokimune is always with you. My guardian deity, Kannon Bodhisattva, has protected the owner of this talisman until today. Even after my tie with this world ends, please help me to be reborn in Heaven in my next life." So saying, he passes the talisman to the retainers.

地

そも

が

莧

を贈

9

先例

は

と言

0

玉

0

樊ん

噌が

か

つ

衣る

鎧

0 つ

背に着

後ろか

5

の矢を防ぐ衣)

を着替え

7

見とし

た

こと

後世

ま

例とな

たも

0 7

である

ある 0 世 武 士 が 身に着け る母衣 لح 61 う 0 0 母 0 衣 か 5 つ 5 た名

恩愛の そ n 契り 7 0 n さは 5 0 誰 でも変わらな な 賤 13 者 を、 ものだ。 噲 に 例 え る 0 不 ·似合 である が 子

た者 É ま で ことわ 0 臨 はそ 7 が た守を取 理と思召 どうぞこ ても、 で書 Ō る ざに 我兄弟は 主をお守り の手紙 見とし 、た手紙 を思 『老少 しください h 守を御 この 不定』 の筆跡 であ 世 てご覧くださ 身に させる歎き  $\overline{\mathcal{O}}$ ります さっ 習  $\mathcal{O}$ と祐 とあ つけ めをお心 手 た守 しでござい て は時 ゆえ、 成 が書き渡 にお ñ 致 種 致が か たとえ文字が消えて 0 であると言 の観音様 形見と思 います。 0 61 か お側 が形見に せば くださり 書き終えた。 花が散り 61 その時、 長生きす は手跡ほ 私 るも ます がこの 私の 0 と思 るとは どよ 薄く 時致も、 亡き跡をお弔 世と縁 葉の散 せめ ださ し召 n 11 な ても 限らず は n が る無常こそ 肌身離さず 祐 0 切 はあ 見 成 0 形見は n ださ が慰めと が ゔ ても らく

Reciters

the toll of bells resonating around, just as they remind us that all things are impermanent. Now, so long. Hurry to home. "Deliver this letter to the person before my tears enclosed in the letter dry." I indeed understand the feeling of the author of this poem now. As such, the Soga Brothers see off their two retainers return to the village of Soga from the foot of Mount Fuji. They shed tears and stay behind. How pitiful they are. They shed tears and stay behind. How pitiful they are.

[Interlude]

## 5. Kyōgen-kata Appears

Regular version by Izumi School: one or two messengers appear(s) and narrate(s) the story of the act of vengeance accomplished by the Soga Brothers.

Ōkura School and the special "Ōtōnai" version by Izumi School: Ōtōnai (a guest of Kudō Suketsune and the Shinto priest of Kibitsu Shrine) appears, holding a female sash and a Japanese bamboo flute, in a manner that he managed to escape from the scene of vengeance. When a retainer serving at the hunting field talks to him, Ōtōnai shows relief and tells him that he was present at the scene of the Soga Brothers' revenge and he escaped only with his sword and belt. As pointed out by the retainer, he then notices that he actually grabbed a bamboo flute instead of a sword. While helping Ōtōnai to gird the sash, the retainer makes fun of him, telling a lie that Ōtōnai's back is slashed. Ōtōnai starts crying. The retainer reveals that he lied, but then shouts that the Soga Brothers are coming here, and he runs away. Ōtōnai, who turns pale, tries to hold the retainer but is shaken off and leaves the stage while calling for help.

Story

五

間

狂

言

മ

登

和泉流 次第を語る の通常の 場合:伝令役と見える一人、 または二人の男が登場 曽我兄弟の仇討 5

大蔵流 神社の神主) ,和泉流の が 仇討ち現場から逃げてきた様子で登場する。 小 書 「大藤内」 の場合: 女帯と尺八を持った大藤内 狩場の者が (工藤祐経の客 声をかけると大藤内 人 吉備津

[中入]

どうか来世往生 の出来るようにお助け下さい と述べて渡した。

夕暮の時を告げ

は や、

地

も声

々に諸行無常を知らせるように鳴り響

7

13

では、

さらば

61

で行

http://www.the-noh.com

ら思

61

知られることだ。

こうして、

富士

の裾野

から、 を詠

二人

0

従者が曽我

へ帰る

のを、

の歌

じた人

0

心まで、

61

まさらなが

曽我兄弟が見送り、

涙ながらに留まったのは、

あわれなことだよ、

涙ながらに留ま

つ

たの

は、

あわれなことだよ

の文の、

涙の乾く間もないうちに届けておくれ)」

「涙を文に巻きこめて、

そのままやる、

0

S

2

間

に

(涙を封じてそのまま送るこ

## 6. Gorō Fights against Yoritomo's Warriors but is Finally Taken Alive

The Soga Brothers kill Kudō Suketsune and wreak their vengeance. After that, they end up fighting against the warriors serving the Shogun Minamoto no Yoritomo. The second half of this piece begins from the battle scene between Gorō Tokimune and the warriors. Jūrō has already been killed, but Gorō Tokimune holds and fights back well. Although he slashes and kills Furuya Gorō, he is taken alive by Gosho Gorōmaru, who disguised himself as a woman.

Furuya Gorō, Gosho Gorōmaru, and Two Extra Players

Just as the white waves hit the shore loudly, we let out war whoops and make loud noise.

Oh my, a sea of warriors is coming. So many warriors are clamor-Gorō ing to kill us two brothers.

Story

なっ お

7

17

るぞ。 と夥

61

数

0

軍兵

か

我ら兄弟を討とうとし

て、

多勢が騒ぎ合

61

必死

五郎

古屋五郎 御所五郎丸、 立衆二名

ち寄せる白 てるよう 5 は 鬨  $\mathcal{O}$ 声 を上 騒 ぎた

5 れて 1我兄弟 なる。 取 h 押 61 さえら たが 後場 は仇討 岸に打 は れ、 ち Ħ. 郎時致はな  $\mathcal{H}$ 0 郎 本懐を遂げ 誤縛され 時致と頼 61 おも 波 朝 が 奮戦する。 0 高 家 藤祐 61 来たちとの 音を立 を討 古屋 5

Ŧi.

郎

を斬

h

いせるが

女装した御

五. 部丸 61

0

場面

か  $\mathcal{O}$ 

5

始まる

十郎

は

既

に討ち取

取

る

そ

0

家来た

ちと

0

狩場 てや て狩場の者に縋り付こうとするが振り切られ、 の指摘 õ ŋ なが 者は嘘だと明 で 5 曽我兄 切ら 0 か か n わ す ても ŋ  $\dot{O}$ 尺八 曽我兄弟がここ な を持 い背中 0 つ 場に居合 が切ら てきたことが にくるぞ、 れ わ 助けてく 7 61 るぞ、 知られる。 刀と帯を持つ 、れと叫 لح とからか 11 、って駆け びながら幕に入る 狩場 て逃げたと述べ 0 当す。 者は大藤内 大藤内は泣き 大藤 の帯

青ざめ

す。

六

五

郎

頼

朝

の

家来と奮戦する

が

生け捕ら

n

を締

8

場

0

心

Yoritomo's warriors look at this, Yoritomo's warriors look at this. Reciters They are about to unsheathe their swords. They now rush to attack Tokimune.

Gorō Wow, you people are overreacting.

Reciters

Wow, you people are overreacting. You've already witnessed my skills. So saying, Tokimune re-grips his sword and stands up. Anyone witnessing his dignity cannot stop praising him. In the meantime, in the meantime, one of Yoritomo's warriors, Furuya Gorō, fiercely and skillfully attacks Tokimune with his sword, as powerful as the irate and mighty General Fan Kuai and as tactful as the bright strategist Zhang Liang. Tokimune accepts the challenge and fights back fiercely, so hard that they nicked the back of each other's swords. After fighting for a while, we do not know how Tokimune actually slashes him but it looks like Furuya Gorō is cut in two.

In the meantime, in the meantime, Gosho Gorōmaru, who is determined not to let Tokimune in the Shogun's room, takes his armor's sleeves off, removes and tosses the tassets on the floor. covers himself with a thin, female garment from head, and waits for Tokimune by the door.

地

地

61

ことだ。

死

ぬ時に

き

つ ま

ح

同じ場所でと、

っ

7

61

たが

花盛

h n

Ó た

花が

散る

n

7

見失

つ

つ

さて

早

n

7

ま

わ

 $\mathcal{O}$ 

か

り散

ŋ

にな

つ

て は 7 7

あちこち

に死骸をさらすことに

な

つ

7

9

無念

味方 が け  $\mathcal{O}$ て斬 軍 ŋ は か か n つ を見 た 方 0 軍勢はこれ を見 て、 刀 0 鍔元 を 100 う る め て、 時 致

お前たちはも 0) B 0 いことよ

0 時致 ように と太 る お前 7 B 刀を取 たちは るところに りつ 古屋 けた 宝郎 ŋ 知 B  $\mathcal{O}$ 0 0 \$ 抜 か 0 (時致が) 古屋五郎は真 して V) た太刀と、 いるところ <u>7</u> 良 つ 0 た姿は、 先にこちらの手並 っ二つになって見えた を削 るほ 秘術 褒めな 頼朝方 唇を尽く ど激 13 0 者は 古屋五郎が み 戦 0 11 ほどは 61 な いほどであ E 勇猛な樊噲 か つ かかっ った。

つ 7 5 17 唐芦  $\mathcal{O}$ 袖 0 0 を解き で、 時致を待ち 草 - 摺を軽 五 かまえた 々 丸 ざ つ 重  $\mathcal{O}$ と投 前 げ 捨 て 5 \$ 女物  $\mathcal{O}$ か  $\mathcal{O}$ 薄 衣

[kakeri]

A series of distinguished musical movements describe the development of the story. In this scene, it shows Gorō Tokimune spying on his enemy.

Now, Tokimune runs of out luck. Gorō

Now, Tokimune runs of out luck. He is coming closer to the end of Reciters his fighting power. This must be a real woman. Dropping his guard, Tokimune passes by, and then Gosho Gorōmaru, who just lets Tokimune go, stands up at his side and forces Tokimune down to the floor.

Who are you? (Gorō Tokimune asks.) Gorō

My name is Gosho Gorōmaru (Gorōmaru responds.) How Reciters extravagant. Tokimune grabs the torso of Gorōmaru's armor and flips him down. Now Tokimune, who is on top of Goromaru, pins him down to the floor, but then Goromaru pushes Tokimune back from the bottom. At that moment, a number of warriors pile on top of Tokimune and firmly bind him with a rope. Tokimune is taken before Shogun Yoritomo. How splendid it is.

地

地

今は

時致

尽きて、

は少し行

かせて も運が

から並

び立って、

むんずと時致を組

み敷

け

本当

 $\bar{\sigma}$ 女

かか

٤

所

Ŧī.

囃子に乗り

特徴ある所作で、

物語

 $\mathcal{O}$ 

展開を示す。

ここでは

五.

郎時

致が

敵を探る様子を表す。

[カケリ]

は 時致も運が尽きて

五郎

(五郎時致は問い

お前は何者だ いかけた)。

所五郎丸だ(五郎丸が答えた)。 (鎧 の 胴の部分) つかみ、 77 何と物 えい いこと つ 時致 は五 致 郎 が 丸 にな 0 0 つ

わ

Ŧī. 郎 丸 0 がまた下 だをかけ か かたじけなくも将軍の らえ 61 やと押 し返した。 の御前に、 引っ立てたのは 大勢で折り 重なって

なことであった。

## This part from *Utaibon* in Konparu School

\*Dialogues in this piece are quite unique and differ from school to school. The following story therefore introduces two styles of dialogues, referring to the current Utaibon (book of lyrics and musical notation) used in Kanze School, Hōshō School, Kita School and Konparu School.

## 1. Soga Brothers and Their Retainers Appear

The Soga Brothers, who seek vengeance against Kudō Suketsune for killing their father, try to participate in the hunting competition at the foot of Mount Fuji hosted by the Shogun Minamoto no Yoritomo. They arrive at the venue with their retainers, Danzaburō and Oniō.

Soga Jūrō Sukenari, Gorō Tokimune and Their Retainers (Danzaburō and Oniō) The famous Mount Fuji, the famous Mount Fuji, let's go to the hunting competition at the foot of the mountain.

I am Soga Jūrō Sukenari. Now, Lord Kamakura (Minamoto no Jūrō Yoritomo) will go hunting at the foot of Mount Fuji, and all warriors from the eight provinces of the Kanto region, regardless of their ranks, will attend the hunting competition. We brothers intend to participate in the competition just like the others and rush to the foot of Mount Fuji.

Jūrō Once we depart home today, we do not know when we can come back. We may be unable to return anyways.

Story

## 曽我兄弟 曽我兄弟と は 富士 0 従 仇 者 であ の 登

曽我十郎祐成、 しようとし 五郎時致の兄弟とその従者 一裾野にやっ る工藤祐経を討 てくる。 (団三郎、 従者の 鬼王 つ機会をう 団三郎、 か 鬼王も 13 同行する 源 0 す 0 巻狩に参加

のだが 名高い富士山 は曽我十郎祐成です。 関東 の、 八カ国の 名高い 大名も小名も皆、 1富士山 さて、 0 のたび 御狩 鎌倉殿 に出 狩に参加するとのことです。 (源頼朝) は、 富士 0 御 狩に臨まれ 我ら兄弟も

か

け

十郎祐成

人並みに参加しようと、

急い

で富士の裾野

へ出

かけるのです

田 しまえば 61 7 故郷  $\sim$ 帰 れるだろう か それ もかなわ な 11 ことだろうと

- 28 -

えば

なお

現 行 謡 本 に よる

曽

金

春

流

\*流儀による違いが顕著なため、 \*以下は金春流現行謡本による。

観世流・宝生流、

喜多流、

金春流の三流の謡本を元

に

三通り

0

翻訳を掲載し

ます。

観世・

宝生流現行謡本による翻訳は

 $^{\circ}$ 

ジ

から、

喜多流現行謡本に

よる翻訳は15

 $\sim$ 

以降に掲載

Soga Brothers and Their Retainers

So thinking, we are now even more reluctant to leave our home.

Jūrō and Retainers

We are reluctant to leave our home.

Soga Brothers and Their Retainers

When the snowy white deutzia flowers that bloom on the hedge of our house fall, it signals the end of the spring. Since these will probably be the last moments of our lives, we walk with heavy hearts. However, we manage to pass Mount Ashigara, and though it was far, we finally arrive at the foot of Mount Fuji. We arrive at the foot of Mount Fuji.

## 2. Soga Brothers Decide to Take Revenge and Try to Send the Retainers Home

The Soga Brothers let their retainers pitch a tent and set up their accommodation for the night, but set their minds on taking revenge that night. They consider the grief of their mother after they die and decide to send their retainers, Oniō and Danzaburō, home with their mementos.

Since we hurried, we've arrived at the foot of Mount Fuji Jūrō

Hello, Tokimune.

Gorō At your command.

Story

五郎時致

前に

おります

やあ、

時致よ

急 11 できましたの で、 富 士 0

に着きました

ようと決める。

そし

て自分たち

の死後

0

母

0

嘆きを考え、

従者

0

鬼王、

団三郎に形見を届け

は、

幕屋を張らせて宿所

だを作っ

たが、

そ 0

日の夜に、

仇討ちを実行しようと決

意を させ

我 8 る。 兄弟 曽我兄

弟

仇

討 ち

決行

を

決

意

従者二人を

帰郷させようとす

我が家が名残り惜しいことだよ。

十郎と従者

我が家が名残り

傮

しいことだよ

5  $\mathcal{O}$ 0 我 が もこれ  $\mathcal{O}$ 垣 が 最 期だと思えば 雪の よう な卵 足取 ŋ も重く が なる 61 が

n

春も終わりである。

何とか足柄山を越えて進

遠 か った富 士 0 裾野 に着い た、 富士 0 裾野に着 1/7

金春流

Youchi Soga	(Vengeance of the Soga Brothers at Night) Konparu School Stor
Jūrō	Order the retainers to find an appropriate place to pitch a tent.
Gorō	Yes, certainly.
	This would be a good spot. Hey Danzaburō, pitch a tent here.
Danzaburō	Very well.
Jūrō	Both large and small feudal lords from the eight provinces of the Kanto region pitch their gorgeous tents. Our tent is the shabbiest of them all.
Gorō	I agree. Among those gorgeous tents, I am ashamed of how ours looks.
	Now, what shall we do with that plan?
Jūrō	What do you mean by 'that plan'?
Gorō	Did you forget our plan? I'm talking about the Suketsune plan.
Jūrō	Surely, if you are talking about Suketsune, I did not forget the plan even for a moment.

十郎 五郎 十郎 五郎 十郎 団郎郎 まことに、 関東八か国の大名、 畏まりました。 さてはお忘れになったのですか。 計画とは何だ。 仰せのごとく、 ど寂しいものは、 例の計画はどうしますか。 祐経のことならば、 きらびやかななかで、 ないなあ。 小名がきらびやかに幕屋を張るそのなかで、 片時も忘れたことはない あの祐経のことです。 私たちの有様は面目もないことでございます。 我ら兄弟の幕屋ほ

金春流

五郎

畏まりました。

このあたりがい

いだろう。

おい団三郎、

ここの幕屋を設けなさい。

十郎

適当な場所を選び、

幕屋をしつらえさせなさい。

五郎 五郎 彼らの お 畏まりました。 まことに、 私が考えますに、 しょうか 上にこのことをはっ 人に形見の品を持たせ、 二人ともこちらに呼び出 団三郎、 中を察しますに、 これ 鬼王よ、 は 今夜夜討をか っともなことだな。 きりと申し 御前 故郷 人では帰らない に参りなさい しなさい けて、 へ帰 上げ しなさい 7 か では今夜に決めよう。 61 0) なか 祐経を討ち果たされ でしょうから、 つ たから、 鬼王か団三郎 二人とも帰してはどう 61 か

金春流

Danzaburō Yes, certainly.

団三郎

畏まりました。

どちら

だか

らこそ、

先に言葉を尽く

7

固

13

約束をしたわ

け

だ

が

なぜ約束を破

る

よう

か

りなさい

み

死

の

うとする

Ξ

けません

と拒

む。

か 確

し五

郎

から、

主君の

7

うことを聞くと明言したではない

かと迫られ

方なく聞

くふりをする。

その陰で、

従者二人示し合わせて、

刺し違えて死のうとする。

郎

は、

主命を聞

か

か

8

たうえで、

従者二人に帰郷を命じる。

従者たちは、

ご命令でも

After confirming with them that they will follow his order, Jūrō orders the two retainers to return home. They refuse to follow the order even though it's from their master. They pretend that they will reluctantly follow the order because Gorō blamed them for clearly agreeing that they would follow Jūrō's order. However, they secretly discuss and arrange behind the Soga Brothers' back to stab each other and commit suicide.

Jūrō Well, Oniō and Danzaburō. Tell me clearly whether or not you agree with what I will tell you now.

Danzaburō I think it's needless to say, but we will not disobey any of your orders.

I'm telling you something very important. Tonight, we are Jūrō planning to attack Suketsune and exact our revenge. I order you brothers to take our mementos and return to our home village.

Danzaburō I understand your order, but we have served you for many years in order to attack enemies and to die first at an important occasion like this. It's already too late to order us for such a request, and we refuse to go back home at this moment.

That's the reasons why at first I emphasized and made a solid Jūrō promise with you... Why do you break our promise? Return home.

型三郎 な折に、 兄弟は、 とは これ 大変重大なことである。 言 とはできません せでは 67 13 なさい あ は 鬼王、 ŋ 真っ ござ ませ 形見の品を持つ 61 まさらながらとい 先か いま 4 け す が て討ち て故郷 私が 我 死 々 うお が 夜 話すことを承知するの  $\sim$ 41 帰 討 たすためでござい 0 つ 長 h に なさ か Þ 61 年 け ŋ 户、 て祐 ようです 経を討 御 ・ます。 が か 61 取る た 何ごとでも、 今ここに至っ しま しな つ 1/2 た ŋ 0 だがが  $\mathcal{O}$ か 仰せ は お前 に背 つ 帰るこ きり 0

た

金春流

It is totally against our will to return to the village now, but if we Oniō don't return, we will be acting against the order of our master. Either way, giving up our lives is critical. With respect, Brother Danzaburō, we shall stab each other and die here.

Danzaburō Yes, that is so true. Now, lets' stab each other to die.

## 4. Soga Brothers Persuade the Retainers Once Again and Have Them Go Home

Being surprised with the retainers' decision, the Soga Brothers stop them. Jūrō tells them once again that they are taking an important role to be messengers to their mother in the home village. He further explains the way of the master-and-servant relationship and tells that he will disown them even in their next lives, if they still refuse to follow his order. Being pressed on that much, the retainers cannot refuse to obey his order anymore. They decide to return to the village. Jūrō prepares a letter and Gorō prepares a talisman for their mother. With their hearts, the Soga Brothers pass those mementos to the retainers and see them off in tears.

Hold on. Wait a minute. Calm down and listen to me carefully. If we Gorō brothers die without informing our mother about our death, it will cause troubles in our lives in the next world.

Story

一に確

か

なことを申

一げな

まま命を落とせば

死後の差

し障り

にもなるだ

な

さ

61

は

心

を鎮

8

7

つ

ŋ

きなさ

61

今自

分達兄弟が

お 17 5

五郎

n いると、

語り、

曽我兄弟は驚き、

二人を止

8

る

十郎は改

8

て、

故郷

0

母

 $\sim$ 

0

が使者が

大切な役を担っ

て

13

3

61

. う。

そこまで言

十郎

が手紙

Ŧi.

曽

我

兄

弟、

従者二人を

改

め

て

説

帰

郷させ

思い

思 61

の形見を用意

従者二名に渡

ざるを得ず 帰郷することになる。 涙ながらに別れる。

君臣 従者二名 0 も聞か まで勘当すると 曽我兄弟は

道を改 8 7 説 17 た 上 で、 聞かなけ n ば 後世

まことに、 もっともなことだ。 で し違えよう

団三郎

鬼王

る

ば

に背きます

61 ず

n

今ここで故郷 命を捨てることが肝要です。  $\sim$ 帰 0 は不本意です 恐れ ながら団三郎殿と差し違えて死にましょう。 帰らなけ ħ 主命

我らほど不運な者はない さてどうしたもの

大変なことになっ

てしまった。

金春流

どうぞこの手紙

0

筆跡をお心

にお

か

け

くださり

私の亡き跡をお弔

41

ださ

L J

Ł

形見と

てご覧

ださ

41

0

形見には手跡ほどよ

13

B

はあ

n

ます

ź

で書

61

た手

であ

n  $\mathcal{O}$ 

ます

ゆえ、

たとえ文字

が消えて薄

づ が

らく

な  $\mathcal{O}$ 

ŋ

ŧ

そ

成

手

を、

か

書き終え

は h

成

最

期

そ

n

に

7

我

5

 $\mathcal{O}$ 

な賤

61 者

を、

噲

例

え

る

 $\mathcal{O}$ 

不

似

合

であ

る

恩愛

 $\mathcal{O}$ 

が情を持

つ親子

0

别

n

 $\mathcal{O}$ 

悲

しさは

でも変わらな

61

B

0

だ は 世までも、

ずっ

と勘当だぞ。

「敬う者に

従

う

0

が

君臣

である」

わ

7

る。

を聞

か

なけ

n

It is said that following orders of those whom you respect is the way Jūrō of master and servant. If you do not follow my order, I will disown you two even in the next lives.

## **Group Reciters**

Persuaded impassionedly like this, Oniō and Danzaburō have no choice and reluctantly say that they will take the mementos. But while saying so, tears unexpectedly flow out. They cannot hold back their tears.

An ancient example of giving a memento is of General Fan Kuai in China who took off the garment he received from his mother (horo cloak which is worn on the back of armor as protection from arrows. Horo is spelled with the characters for "mother" and "garment" in Japanese) and made it as his memento. This became an example for later generations.

The *horo* cloak that warriors wear today was named after this Jūrō "mother's garment."

Well, it is not appropriate to compare menial people like us to Reciters General Fan Kuai, but everyone feels the same sadness of separation between a loving mother and her children.

> Then, Sukenari finished writing a detailed letter for his mother. "This is the letter Sukenari wrote at his last moment. Therefore, please look at it as my memento even after the characters have faded out and are getting unreadable. Nothing else would be more suitable than my handwritten letter for a memento. Please keep my handwritten letter in your mind and console my spirit after my death. A proverb says it is not necessarily determined that a younger person survives longer than an old person. It is a way of this world that an older person is left behind. Flowers and leaves fall someday. Please

(母衣:鎧の ります」 あ の例となったも 出すの のよう の世に、 鎧の っだった。 と言 人が 背に着て、 武 士が 形見 切 つ のである。 々 身に着 を贈 と説得され 後ろか そ つ け Ō た 5 る母衣 先例 声 の矢を防ぐ衣) 0 7 は は と言 より、 ح 鬼 61 「えば う を着替え 知らず  $\mathcal{O}$ 团 は 三郎 あ 知らず 0 中 B  $\mathcal{O}$ 致 玉 母 形 に涙 0 見と 方 樊ん  $\mathcal{O}$ 衣 が 噌か が か こらえきれ マ 母 5 n か つ け 5 で b は 5 ずに 後世 n 形 莧 た つ 名 ま

衣

金春流

を賜

Gorō Now, letting us know the arrival of the evening is

the toll of bells resonating around, just as they remind us that all Reciters things are impermanent. Now, so long. Hurry to home. "Deliver this letter to the person before my tears enclosed in the letter dry." I indeed understand the feeling of the author of this poem now. As such, the Soga Brothers see off their two retainers return to the village of Soga from the foot of Mount Fuji. They shed tears and stay behind. How pitiful they are. They shed tears and stay behind. How pitiful they are.

[Interlude]

0

曽 つ

五郎

地

ではその持 て死んだ人を思い出させる歎きの いた守を取 来世往生 から、 るのも と思召しください この 0 主をお守り下さっ h 出来るようにお助け 守を御身に 0 世 一の習 て、 「これは時致の形見と思 わ と祐成が書き渡せば、 つけ L でございます。 た守 て、 下さい 種であると言い n 時致がお  $\mathcal{O}$ 親音様 と述べ 側 花が散り、 に その時、 13 て渡 ますが 私が るも 御覧く 0 時致も と思 0 0 せめ ださ 散る 世 召 ても 無常こそ、 形 身離さず 切 0 慰め 見は、 だ ても、 3 ζ) かえ  $\mathcal{O}$ 

はや、 夕暮の時を告げ

ら思 文の、 たの も声 我兄弟が見送り 61 知ら 「涙を文に巻きこめ は 々に諸行無常を知らせるように鳴り響 涙の乾く間もないうちに届けておくれ)」 あわれなことだよ ることだ。 涙ながら に留まっ そのままや たの 一の裾野 さ、 の歌を詠じた は 17 文の か あ 7 わ 1/2 S ぬ なことだよ、 間に で の従者が 0 心まで、 (涙を封じてそのまま送るこ さらば 曽我 涙ながらに留ま  $\sim$ まさらなが 帰る 急 13 0 で行 を

金春流

つ

7

『老少不定』とあ

h

い者でも長生きするとは

らず

17

りま

どう

五

大蔵流

/和泉流

の

小

書

「大藤-

の場合:

女帯と尺八を持

つ

た大藤内

(工藤祐経の客人、

吉備津:

の神主)

仇討ち現

場から

逃げ

てきた様子で登場する。

狩場

Õ

者が

击

を

か

け

ると大藤内

は

次第を語る

安心した様子で、

曽我兄弟の

仇討

ちの現場に居合わ

せ、

刀と帯を持つ

て逃げ

たと述

~

る。

0

者の

治指摘

で、

0

か

わ

ŋ

に尺八を持ってきたことが

知

5

れる。

場の者は大藤内の帯を

8

7

ŋ

5

n

B

ない

背中が切られてい

るぞ、

とか

か

大藤内は

和泉流

の通常

の

場

合 ..

伝令役と見える一

または二人

0

男が

登場

曽

我兄弟

0

仇

討

5

0

## 5. Kyōgen-kata Appears

Regular version by Izumi School: one or two messengers appear(s) and narrate(s) the story of the act of vengeance accomplished by the Soga Brothers.

Ōkura School and the special "Ōtōnai" version by Izumi School: Ōtōnai (a guest of Kudō Suketsune and the Shinto priest of Kibitsu Shrine) appears, holding a female sash and a Japanese bamboo flute, in a manner that he managed to escape from the scene of vengeance. When a retainer serving at the hunting field talks to him, Ōtōnai shows relief and tells him that he was present at the scene of the Soga Brothers' revenge and he escaped only with his sword and belt. As pointed out by the retainer, he then notices that he actually grabbed a bamboo flute instead of a sword. While helping Ōtōnai to gird the sash, the retainer makes fun of him, telling a lie that Ōtōnai's back is slashed. Ōtōnai starts crying. The retainer reveals that he lied, but then shouts that the Soga Brothers are coming here, and he runs away. Ōtōnai, who turns pale, tries to hold the retainer but is shaken off and leaves the stage while calling for help.

## 6. Gorō Fights against Yoritomo's Warriors but is Finally Taken Alive

The Soga Brothers kill Kudō Suketsune and wreak their vengeance. After that, they end up fighting against the warriors serving the Shogun Minamoto no Yoritomo. The second half of this piece begins from the battle scene between Gorō Tokimune and the warriors. Jūrō has already been killed, but Gorō Tokimune holds and fights back well. Although he slashes and kills Furuya Gorō, he is taken alive by Gosho Gorōmaru, who disguised himself as a woman.

## Extra Players

Just as the white waves hit the shore loudly, we let out war whoops and make loud noise.

立衆

# 0

場

0

者

は

嘘だ なが

ح

明

か

す

が

曽我兄弟がここにくるぞ、

لح

61

つ

7

駆け

出

大藤

内は青ざめ 泣き出す。

縋

h

付こうとす

が振

h

切ら

ń

助け

てく

れ

と叫

びながら幕に

## 五 郎 頼 朝 の 家 来 ع 奮戦 す る 生

け

捕

5

n

六

なる。 取 n 我 紀弟 h 7 押さえら 61 後場は、 は仇討 たが Ŧi. 5 五. 郎 0 捕縛され 本懐 時 郎 時 致 を遂 致 は な ٤ おも 頼 げ 朝 奮戦 0 工 家 藤 する。 来 祐 たち 経 を討 古屋 ٤ 0 5 五郎 戦 取 41 る を斬 0 が 場 そ 面 か 0 いせるが 5 始まる 朝 女装した御  $\mathcal{O}$ 十郎 家来 た は 既 5 に 討 Ŧī. 0 5 戦 取 17

5

岸に打ち寄せる白 61 波 が 高 41 音を立てるように、 我ら は関 0 害 を上げ 騒ぎたてるぞ。

金春流

Gorō

地

お つ 7 何 61 るぞ。 13 0 軍 兵 我ら兄弟を討とうとし 多勢が騒ぎ合

远郎 あ Þ غ 死 ŋ んなっ ぬ 時 つ 7 にはきっ お て、 5 あちこちに死骸をさらすことになっ n た 郎 لح が 同 じ場所でと、 さて 不思 議なことよ、 思 b つ 討た 7 どう 17 n たが 7 しまわ 7 7 お返 花盛 しまっ 事 n n が た た。 0 0 な 花 か 61 無念なことよ。 が散るごとく  $\mathcal{O}$ か  $\Box$ 宵 に 17

味方 が け  $\mathcal{O}$ て斬 軍 は ŋ か か n を見て、 つ 方 0 軍勢はこれを見て、 刀 の鍔元をゆるめて、 時致

何と、お前たちはものものしいことよ。

の怒 こう 0 よう れ と太 致 , る勢 お前 7 刀を取 斬 たちは るところに ŋ Ó 屋 知略 n け b  $\mathcal{H}$ 直 郎  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ \$ こう 抜 す  $\mathcal{O}$ 17 (時致が) 古屋 た太刀 して n 61 ことよ。 た張 Ŧi. ζ, 立 郎 کر るところに、 良 つ は 0 た姿は、 真 よう 先にこちら ヘクニーク を削るほ に 秘 褒め 頼朝 に なっ ど激 0 を尽くし 手並 方 61 て見えた。 0 者は 古屋五郎が 3 て、 時致 どとは ほ どであ 勇猛 斬り 後、 か つ 血な樊噲 かか った。

そのうちに、 御所五 郎 丸 は 将軍 0 御前 に入 n てなるも 0 か 肌 に

そ

のう

-----i---- C - -------

Oh my, a sea of warriors is coming. So many warriors are clamoring to kill us two brothers.

Hello! Hello, Jūrō! Brother Jūrō! It's strange. Why does he not respond to me? You fought against Nitta Shirō earlier in the evening, but you must have been killed already. It is truly regretful. Although I wanted to die together with him at the same place, we were dispersed just as flowers in full bloom are scattered around, and we end up showing our corpses here and there. I am bitterly disappointed.

Reciters Yoritomo's warriors look at this, Yoritomo's warriors look at this.

They are about to unsheathe their swords. They now rush to attack Tokimune.

Gorō Wow, you people are overreacting.

Reciters Wow, you people are overreacting. You've already witnessed my skills. So saying, Tokimune re-grips his sword and stands up.

Anyone witnessing his dignity cannot stop praising him. In the meantime, in the meantime, one of Yoritomo's warriors, Furuya Gorō, fiercely and skillfully attacks Tokimune with his sword, as powerful as the irate and mighty General Fan Kuai and as tactful as the bright strategist Zhang Liang. Tokimune accepts the challenge and fights back fiercely, so hard that they nicked the back of each other's swords. After fighting for a while, we do not know how

Tokimune actually slashes him but it looks like Furuya Gorō is cut

金春流

in two.

## [iroe]

A series of distinguished musical movements describe the development of the story. In this scene, it shows Gorō Tokimune spying on his enemy.

Gorō Now, Tokimune runs of out luck.

Now, Tokimune runs of out luck. He is coming closer to the end Reciters of his fighting power. This must be a real woman. Dropping his guard, Tokimune passes by, and then Gosho Gorōmaru, who just lets Tokimune go, stands up at his side and forces Tokimune down to the floor.

Who are you? (Gorō Tokimune asks.) Gorō

My name is Gosho Gorōmaru (Gorōmaru responds.) How Reciters extravagant. Tokimune grabs the torso of Gorōmaru's armor and flips him down. Now Tokimune, who is on top of Goromaru, pins him down to the floor, but then Gorōmaru pushes Tokimune back from the bottom. At that moment, a number of warriors pile on top of Tokimune and firmly bind him with a rope. Tokimune is taken before Shogun Yoritomo. How splendid it is.

地

囃子に乗り

特徴ある所作で、

物語の展開を示す。

ここでは五郎時致が敵を探る様子を表す。

7

口

工

着

13

袖  $\mathcal{O}$ 

草

-摺を軽

々

上から女物

の薄衣

か

つ 7

戸  $\mathcal{O}$ 

7

時致を待ちかまえた。

今は時致も運が尽きて、

五郎

今は は 少 ĺ 行 致 も運が か なせて 尽きて、 から並 び立って、 戦う むんずと時 本当 致を組  $\vec{o}$ 女 か み敷 と油 け 断 ば 御 所 Ŧī. 郎

お前 は何者だ (五郎時致は問い いかけた)。

地

 $\mathcal{H}$ の胴の部分) 郎 所五郎. 丸がまた下 0 組をか 丸だ を つ (五郎丸が答えた)。 かみ、 か らえ かたじけなくも将軍 え 11 やと押 やえ 61 し返した。 と物々 やと組みころ 0 御前 その ことよ、 がっ 弓 大勢で折り と時致は つ 立てた 時致が Ŧī. り重な 0 上になったところで、 は 丸 0 立派なことであ つ 兜 0 時致に幾 わだ髪(錯

金春流

## **Youchi Soga** (Vengeance of the Soga Brothers at Night)

## Synopsis

Brothers Soga Jūrō Sukenari and Soga Gorō Tokimune have been watching for an opportunity to avenge Kudō Suketsune, the man who killed their father. They try to participate in the hunting competition that Shogun Minamoto no Yoritomo of the Kamakura Shogunate holds at the foot of Mount Fuji\*, since Kudō Suketsune, who has assumed an executive position in the Shogunate, will accompany Shogun Yoritomo to the hunting competition.

The Soga Brothers arrive at the foot of Mount Fuji with their retainers, Danzaburō and Oniō. There, Jūrō and his younger brother, Gorō, decide to attack Suketsune tonight. Though the brothers have already prepared to die in their act of vengeance, their only concern is the mother they have left behind in the village of Soga. Considering their mother's grief after their death, the brothers discuss and decide to send the retainers back to the village of Soga, in order to pass their mementos to their mother. The brothers call the retainers and order them to go back to the village. However, the retainers show their determination to help the act of vengeance and are willing to die even before the brothers do. Because the Soga Brothers strictly order the retainers to follow their order, the retainers are caught between a rock and a hard place and try to commit suicide by stabbing each other. Surprisingly, the Soga Brothers stop them and once again persuade them to follow their order by explaining the way of master and servant and the importance of bringing their mementos to their mother in the village of Soga. They further mention that if the retainers do not follow their order, they will disown them, even in their next lives. Being pressed on that much, all the retainers can do is just follow the order. After receiving a letter from Jūrō and a talisman from Gorō, Danzaburō and Oniō depart in tears from the Soga Brothers and head to the village of Soga.

That night, the Soga Brothers attack Kudō Suketsune and gain their revenge for the death of their father. After killing Suketsune, the brothers fight against Shogun Yoritomo's warriors and Jūrō is killed in the battle. Gorō remains alive and he fights and kills Furuya Gorō. However, he is finally pinned down and captured by Gosho Gorōmaru, who is disguised as a woman.

\*Hunting competition: a style of hunting where a large number of servants of samurai chase wild game out so they may be shot by the samurai warriors.

## Highlight

This is one of the *Soga-mono* pieces, whose titles include their family name, Soga. These Soga-mono all describe the stories associated with the vengeance of the Soga Brothers for the murder of their father from different viewpoints.

This piece, Youchi Soga (Vengeance of the Soga Brothers at Night) describes the story immediately before and after their act of vengeance. In the first half of the drama, the Soga Brothers force their retainers to return to their village of Soga right before the act of vengeance. With limited movements and chants, it depicts the behaviors and subtleties of emotion of both masters and retainers, which are simple yet human. The second half of the drama starts from the scene after the act of vengeance, and only Gorō and Yoritomo's warriors appear on the stage. It describes Gorō who fiercely fights against his foes after learning and lamenting that his brother, Jūrō, was killed.

Instead of directly showing the scenes of vengeance, this piece extracts only the moments before and after the event. Furthermore, it focuses only on Gorō's fighting scenes in the second half of the drama, which succeeds in making a clear distinction between the first and second halves and in impressing on its audience the differences of each scenes.

In this "Youchi Soga" , *kyōgen-kata* plays an important role to bridge the first and second halves of the drama. With Izumi School, one or two *kyōgen-kata*, who are called *Hayauchi-Ai*, appears on the stage as a messenger and narrates the scene of the act of vengeance. With Ōkura School, they humorously perform a man named Ōtōnai, a guest of Kudō Suketsune, who just ran away from the battle of the Soga Brothers' vengeance. The Ōtōnai provides some laughs and relaxing moments for the audience who have been watching the series of tense scenes throughout the drama. Izumi School also performs this "Ōtōnai" as a special version (*kogaki*).

Schools All five

Category The Fourth Group Noh, kiriai-mono

Author Miyamas

Subject Mirror of the East (Azuma Kagami), the Epic Tale of Soga Brothers (Soga Monogatari)

Season Summer (May in the lunar calendar)
Scene At the foot of Mount Fuji in Suruga Province

Characters

Shite Soga Gorō Tokimune
Tsure Soga Jūrō Sukenari

Tsure Danzaburō
Tsure Oniō

Tsure Furuya Gorō
Tsure Gosho Gorōmaru

Tsure (extra players) Guards who hold the end of the rope tying a criminal (two)

Ai with Izumi School (Regular version)

Hayauchi (one or two)

Ai with Okura School and the special "Ōtōnai" version with Izumi School

Ōtōnai and a retainer

Masks no mask (hitamen)

Costumes Shite (Gorō) First Half: Ori-eboshi (eboshi-style headdress), kake-hitatare

(hitatare-style kimono worn without tucking it into the hakama trousers), kitsuke / atsuita (a type of short-sleeved kimono mainly worn by male characters), hakama in ōkuchi-style (white), koshi-obi (belt), a

small sword, a fan, bow and arrow, and a talisman.

Second Half: Ori-eboshi tied in chōdogake-style (the formal style of tying), kake-hitatare worn in shiboriage-style (the way to tuck sleeves up with a string and to tie them at the back), kitsuke / atsuita, hakama in ōkuchi-style (white), koshi-obi, a small sword, a torch, and a sword.

Tsure (Jūrō) Ori-eboshi, kake-hitatare, kitsuke / atsuita, hakama in ōkuchi-style

(white), koshi-obi, a small sword, a fan, bow and arrow, and a letter.

Tsure (Danzaburō) Tops and bottoms of suō (a long-sleeved unlined hemp kimono with matching top and bottom worn by male characters), kitsuke/

muji-noshime (short-sleeved kimono with no pattern), a small sword, a

fan, and a sword.

Tsure (Oniō) Tops and bottoms of suō, kitsuke / muji-noshime, a small sword, a fan,

and a sword.

Tsure (Furuya Gorō) A white headband, sobatsugi (lined happi-style kimono with no sleeves,

worn by warriors or Chinese characters), kitsuke / atsuita, hakama in

 $\bar{\textit{o}}\textit{kuchi}\text{-style}$  (white), koshi-obi, and a sword.

Tsure (Gosho Gorōmaru) A white headband, white mizugoromo (a type of

knee-length kimono), sobatsugi, kitsuke / atsuita, hakama in ōkuchi-style (white), koshi-obi, and a sword.

Tsure (Extra Players) [Two guards] A white headband, kitsuke / atsuita, hakama in ōkuchi-style (white), koshi-obi, and a sword.

Ai with Izumi School (Regular version) Kataginu (sleeveless robe), kukuri-bakama (a way of wearing hakama trousers, tucking the bottoms up at the knee with a

string), a pair of gaiters, and a stick.

Ai with Okura School and the special "Ōtōnai" version with Izumi School

[Ōtōnai] eboshi, akaji-nuihaku (a red short-sleeved kimono with embroidery and gold or silver flakes placed on the fabric), kitsuke/shironeri (white silk kosode-style kimono), shita-bakama (underwear hakama trousers), a pair of gaiters, onna-obi (wide sash for women),

and a shakuhachi (Japanese bamboo flute).

[Retainer serving at Hunting Field] Kataginu (sleeveless robe), han-bakama (a pair of hakama trousers of ankle length) taking the right

arm out of the sleeve of his kimono.

Number of Scenes Two

Length About 1 hour 20 minutes

## 夜討曽我 (ようちそが)

## あらすじ

曽我十郎祐成、五郎時致の兄弟は、父の仇である工藤祐経を狙い、源頼朝の催す富士の巻狩※に参加しようとしていました。この時、工藤祐経は頼朝の家来として鎌倉幕府の要職にあり、巻狩に同行していたのです。

曽我兄弟は、従者の団三郎、鬼王とともに富士裾野に到着します。 十郎は、弟の五郎と相談して、今夜、祐経を夜討ちにかけようと決めました。死を覚悟した二人の心残りは、曽我の里に残してきた母のことでした。自分たちの死後の母の嘆きを思って、兄弟は話し合い、従者二人に形見の品を持たせて、曽我の里に帰そうとします。曽我兄弟は、従者二人を呼び、帰るように告げるのですが、従者二人は、仇討ちを助け、真っ先に死ぬ覚悟であることを示します。しかし曽我兄弟が帰郷を厳しく命じたため、進退きわまった従者は、互いに刺し違えて死のうとします。驚いた曽我兄弟は二人を止め、改めて曽我の里の母に形見を届けることの大切さと君臣の道を説き、言うことを聞かなければ、後の世まで勘当すると告げました。そこまで言われると、従者二人も従わざるを得ません。十郎から手紙を、五郎から守を託された団三郎、鬼王は泣く泣く曽我兄弟と別れ、曽我の里へ向かいました。

曽我兄弟はその夜、工藤祐経を襲い、仇討ちの本懐を遂げました。 その後、二人は頼朝の家来と戦い、十郎は討ち死にしてしまいます。残 された五郎はなおも奮戦し、古屋五郎を倒しますが、女装した御所五 郎丸に組み敷かれ、捕縛されます。

※巻符:大勢の従者によって追い込まれた獲物を、武士が射る符。

## みどころ

曽我物と呼ばれる、「○○曽我」という名を冠する曲の一つです。曽 我物は、曽我兄弟が実父の仇討ちを行う物語を、さまざまな観点から 描き出しています。

夜討曽我では、曽我兄弟が仇討ちを実行する前後の話を、取り上げています。前場は、曽我兄弟が、仇討ち直前に、二人の従者を曽我の里に帰す話で、主従それぞれの行動と心の機微を、抑制された所作と話とで、さらりとしながら人情味を欠かさずに描き出しています。後場では、すでに仇討ちが終わった設定で始まり、五郎と頼朝の家来衆だけが登場し、その五郎が、十郎が討たれたと知って嘆いた後、激しく戦う様子が描かれます。

仇討ちをそのまま描くことなく、その前後を取り出し、しかも後半は 五郎のみの戦いに絞り込んだことにより、前後半それぞれの場面をより くっきりと表す、メリハリの効いた能に仕上げられています。

「夜討曽我」ではまた、間狂言が前後をつなぐ、重要な役割を果たします。和泉流では通常の場合、早打アイといって、一人または二人の伝令役が登場し、仇討ちの様子を語ります。一方、大蔵流では、大藤内という、工藤祐経の客人が、曽我兄弟の襲撃から大慌てで逃げ出してきた様子を滑稽に表し、緊張の糸の張りつめた全編に、笑いと寛ぎをもたらします。これは和泉流でも小書(特殊演出)の「大藤内」として演じられます。

流儀五流にあり分類四番目物、斬合物作者宮増題材吾妻鏡、曽我物語

季節 夏(旧暦5月) 場面 駿河国富士裾野

登場人物

 シテ
 曽我五郎時致

 ツレ
 曽我十郎祐成

 ツレ
 鬼王

 ツレ
 古屋五郎

 ツレ
 御所五郎丸

 ツレ(立衆)縄取二人
 和泉流・通常の場合のアイ

 早打(一人または二人)

大蔵流のアイ/和泉流の小書・大藤内(おおとうない)の場合のアイ 大藤内および狩場の者(二人出る)

面 直面

装束 シテ(五郎) 前場:折烏帽子、掛直垂、着付・厚板、白大口、腰帯、小刀(ちいさがたな)、扇、弓矢、守(もり)

後場: 折烏帽子 (調度懸)、絞上げ・掛直垂、着付・厚板、 白大口、腰帯、小刀、松明、太刀

ツレ(十郎) 折烏帽子、掛直垂、着付・厚板、白大口、腰帯、小刀、扇、

ツレ (団三郎) 素袍上下 (すおうかみしも)、着付・無地熨斗目 (むじのしめ)、 小刀、扇、太刀

ツレ(鬼王) 素袍上下(すおうかみしも)、着付・無地熨斗目(むじのしめ)、 小刀、扇、太刀

ツレ(古屋五郎)白鉢巻、側次、着付・厚板、白大口、腰帯、太刀

ツレ(御所五郎丸)

白鉢巻、白水衣、側次、着付・厚板、白大口、腰帯、太刀ツレ立衆(縄取二名)

白鉢巻、着付・厚板、白大口、腰帯、太刀

和泉流・通常の場合のアイ

肩衣、括袴、脚絆、杖

大蔵流のアイ/和泉流の小書・大藤内(おおとうない)の場合のアイ 大藤内:赤地縫箔、着付・白練、下袴、脚絆、女帯、尺八 狩場の者: 肩衣、半袴

場数 二場 上演時間約1時間20分

夜討曽我 (ようちそが)

Youchi Soga (Vengeance of the Soga Brothers at Night) ©2019 the-noh.com

発行: 2020年3月9日 (ver 1.01)

編集: the 能ドットコム編集部 http://www.the-noh.com (e-mail:info@the-noh.com)

発行:(株)カリバーキャスト

本テキストは the 能ドットコム編集部によって編纂されたものであり、実際に上演される内容と 異なる場合がありますので、ご了承ください。本テキストの著作権は、(株) カリパーキャスト および「the 能ドットコム編集部」が所有しています。本テキストの全部または一部を無断で複 写複製(コピー)することは、著作権法で禁じられています。

The text in this article has been edited by the-noh.com editorial department, so there may be differences from lines used in actual performance. Copyright of this text is the property of Caliber Cast Ltd. and the-noh.com editorial department. Unauthorized reproduction of all or part of this is forbidden under copyright law.

本テキスト作成にあたって、主に下記の文献を参照しています。

『謡曲大観 (第5巻)』佐成謙太郎著 明治書院

『能楽手帖』権藤芳一著 駸々堂

『能楽ハンドブック』戸井田道三監修 小林保治 編 三省堂

『能・狂言事典』 西野春雄・羽田昶 編集委員(平凡社)

各流謡本